記者発表資料

平成29年12月6日
国　土　交　通　省
三 陸 国 道 事 務 所

【宮古盛岡横断道路（宮古箱石道路）】

川井箱石地区で最初のトンネル貫通式を開催

～ 12月10日（日）に（仮称）新箱石トンネルの貫通式を開催 ～

宮古箱石道路（復興支援道路）は、震災復興のリーディングプロジェクトとして平成32年度の完成を目指し、従来にないスピードで事業を進めているところです。

このたび、宮古箱石道路の川井箱石工区で初めての貫通となる「（仮称）新箱石（しんはこいし）トンネル（延長 1,493m）」の貫通式を下記のとおり開催いたしますのでお知らせします。

貫通式では、トンネルの貫通を祝って「箱石鹿踊り保存会」の方に、箱石地区に伝わる無形民俗文化財である「箱石鹿踊り」を披露して頂きます。

■ 日　　時 ： 平成29年12月10日（日）10：00から（約1時間30分）
■ 場　　所 ： 宮古市箱石地内　トンネル坑内・・・別紙－1（会場案内図）参照
■ 主　　催 ： （施工者）株式会社 安藤・間
■ 式典内容 ： 別紙－2（貫通式概要）参照
■ 事業概要 ： 別紙－3（工事概要）参照
■ 工事概要 ： 別紙－4（事業概要）参照
■ そ の 他 ： 会場ではヘルメットの着用をお願いします。
（ヘルメットは当日、主催者側で準備します。）
雨天の場合も実施します。

《 発表記者会：岩手県政記者クラブ、宮古記者クラブ、東北専門記者会 》

問い合わせ先

【今回の式典や施工内容に関する問い合わせ】
○ 国道106号　箱石地区道路工事
株式会社 安藤・間　新箱石トンネル作業所
〒028-2304　宮古市箱石第4地割27
所　　長　佐々木（ササキ）　照夫（テルオ）　電話 0193-85-1525

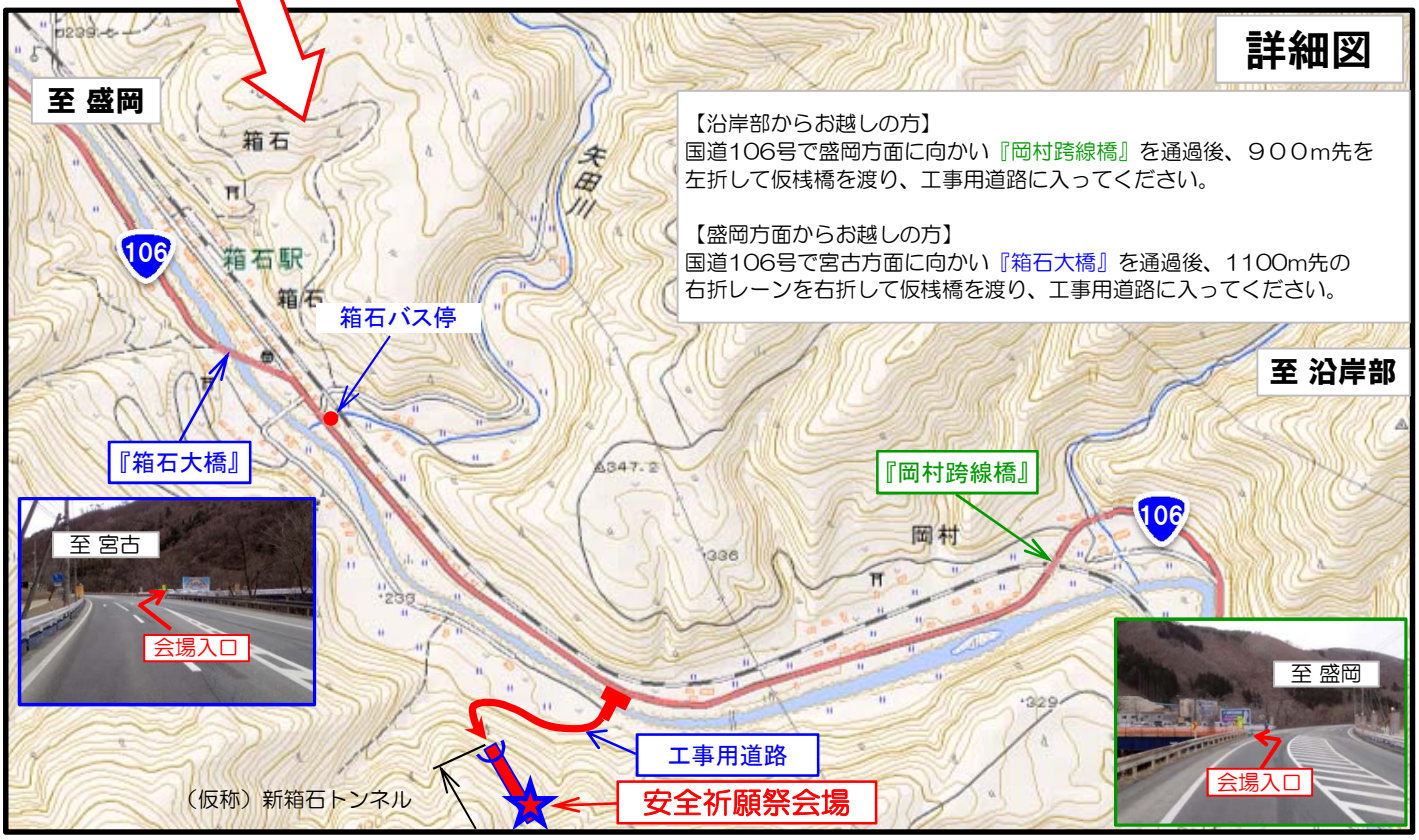
【事業に関する問い合わせ】
○ 国土交通省　東北地方整備局　三陸国道事務所
副 所 長　平岡（ヒラオカ）　弘志（ヒロシ）　（内線 204）　電話 0193-62-1711（代表）
工務第一課　建設監督官　河上（カワカミ）　伸一（シンイチ）　（内線 504）

（復興支援道路・宮古盛岡横断道路については、三陸国道 で検索できます。）

別紙 － 1

【国道106号 箱石地区道路工事　貫通式　会場案内図】





【沿岸部からお越しの方】
国道106号で盛岡方面に向かい『岡村跨線橋』を通過後、９００m先を左折して仮桟橋を渡り、工事用道路に入ってください。

【盛岡方面からお越しの方】
国道106号で宮古方面に向かい『箱石大橋』を通過後、1100m先の右折レーンを右折して仮桟橋を渡り、工事用道路に入ってください。

国道106号 箱石地区道路工事
安藤ハザマ　新箱石トンネル作業所
〒028-2304　岩手県宮古市箱石第4地割27
TEL:0193-85-1525　FAX:0193-74-2535

別紙 － 2

（仮称）新箱石トンネル　貫通式概要（案）

工事名称　：　国道106号　箱石地区道路工事

日　　時　：　平成２９年１２月１０日（日）　午前１０時００分から
場　　所　：　岩手県宮古市箱石　地内　トンネル坑内
発 注 者　：　国土交通省　東北地方整備局
主 催 者　：　施工者　株式会社安藤・間　東北支店

式典内容（案）

9:00 ～　受付開始

10:00 ～　貫通式

1. 開　式
2. 貫通発破準備完了報告
3. 貫通発破
4. 貫通確認
5. 貫通報告

（ 貫 通 点 へ 移 動 ）

6. 貫通点清め
7. 通り初め
8. 樽神輿入場
9. 事業者挨拶
10. 来賓挨拶
11. 鏡開き
12. 乾　杯
13. 箱石鹿踊り（箱石鹿踊り保存会）
14. 施工者謝辞
15. 万歳三唱
16. 閉　式

11:30 ～　退場

災害時における緊急輸送路の確保

別紙－３

■東日本大震災では、津波被害により幹線道路の一部が被災し、多くの箇所で通行止めが発生
■宮古箱石道路は、大規模災害時の緊急物資輸送や迅速な復旧活動を支援

▼三陸沿岸地域への緊急輸送道路



▼津波により寸断された国道

写真①　宮古市愛宕交差点



写真②　宮古市磯鶏地区



迅速な救急搬送で安全・安心な住民生活に寄与

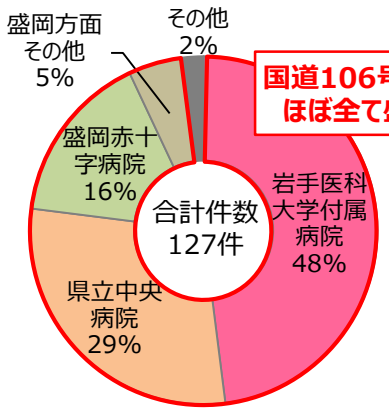
■宮古市内国道106号沿線地域の管外搬送は、全て盛岡市内の高度医療施設へ救急搬送
■宮古箱石道路は、迅速かつ安定的な救急搬送を実現し、安全・安心な住民生活に寄与

▼国道106号は線形不良個所（急カーブ等）が多い

全面通行止（過去１０年間）
回　　数：　　２２回
合計時間：１１１時間　資料：岩手県（H17-H26）

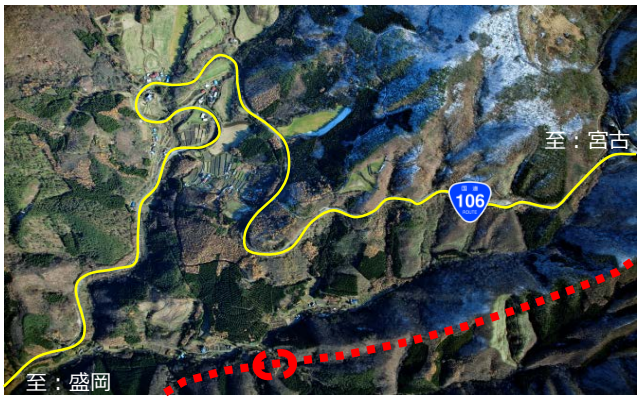


▼宮古市内国道106号沿線地域の宮古地区外への搬送状況（H28）



※国道106号沿線地域
宮古消防署・新里分署・川井分署
資料：宮古地区広域行政組合
消防本部搬送実績

▼　区界地区の急カーブ状況



宮古～箱石区間の国道106号
急カーブ箇所
（R<150m）
14箇所

▷

宮古箱石道路
急カーブ箇所
（R<150m）
0箇所

新たな観光ルートの誕生で観光振興に期待

■三陸沿岸地域は、ジオパーク、復興国立公園に指定され、魅力的な観光資源が数多く点在
■三陸沿岸道路の整備で、高規格道路による広域周遊ルートが形成され観光振興に期待

内陸の観光地



八幡平
（八幡平市入込客数
：175万人/年）



遠野盆地
（遠野市入込客数
：168万人/年）



展勝地
（北上市入込客数
：133万人/年）

世界遺産 平泉
（平泉町入込客数195万人/年）







※入込客数は、平成27年度の値です。

三陸復興国立公園

浄土ヶ浜(宮古市)



（宮古市入込客数：122万人/年）

船越半島大釜崎（山田町）



（山田町入込客数：23万人/年）

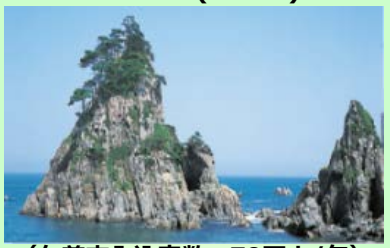
碁石海岸（大船渡市）



（大船渡市入込客数：100万人/年）

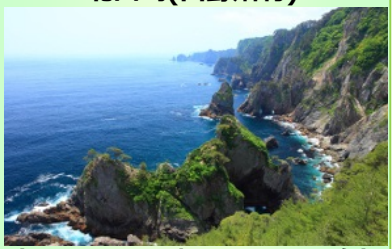
三陸ジオパーク

小袖海岸(久慈市)



（久慈市入込客数：79万人/年）

北山崎(田野畑村)



（田野畑村入込客数：55万人/年）

龍泉洞（岩泉町）



（岩泉町入込客数：43万人/年）

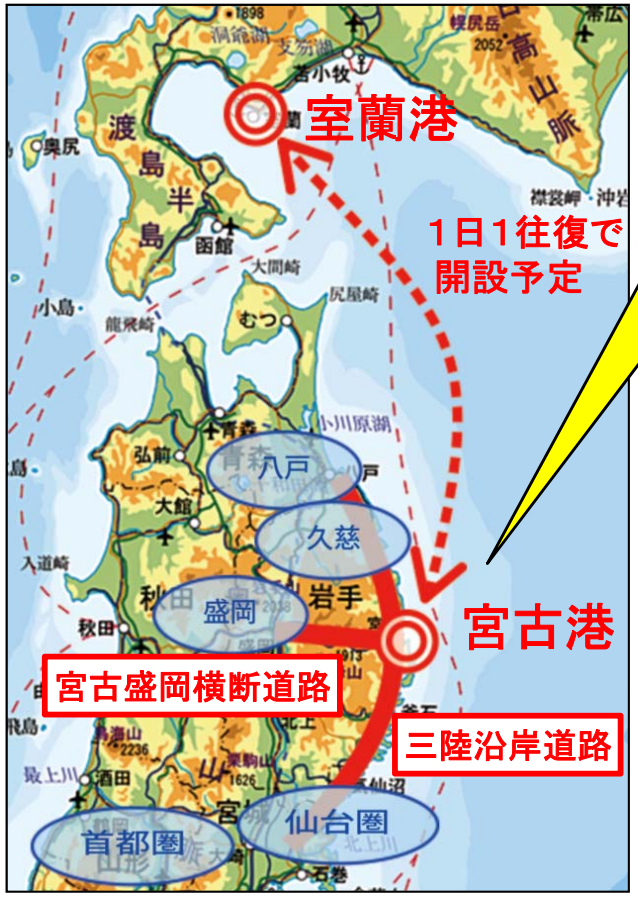
※資料：岩手県観光統計（平成27年、平成28年）

フェリー就航で北海道との広域交流が活性化

○宮古港～室蘭港間で、新たなフェリー航路が開設（岩手県初の運航）。
○三陸沿岸道路、宮古盛岡横断道路の整備による、県内各地や仙台圏、首都圏とのアクセス性向上等が航路選定の理由。
○北海道と東北、首都圏間の交流・物流を活発化させ、東北の復興の加速化に寄与。

■復興道路・復興支援道路の整備とフェリー航路

▼フェリー航路図



▼宮古港周辺の道路整備状況



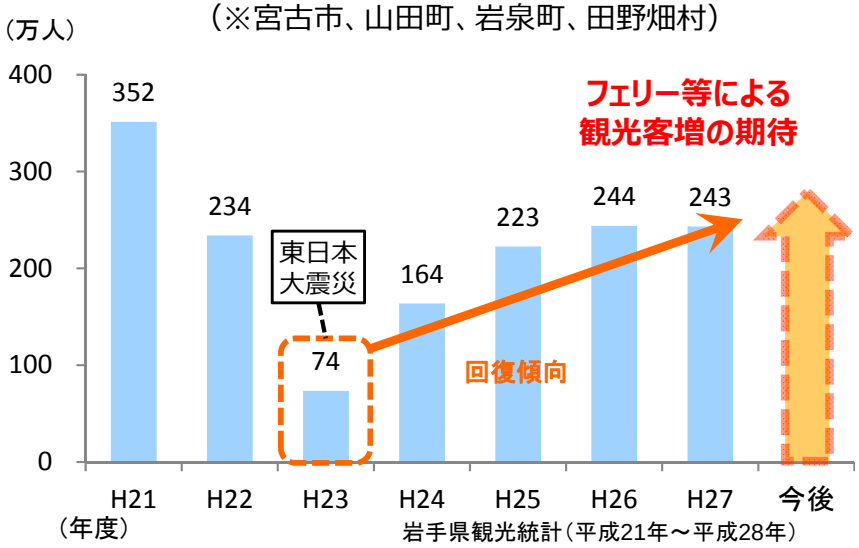
▼平成27年11月に宮古港でフェリー乗船会が開催され、カーフェリー「シルバークイーン」が寄港



▼航路概要
（川崎近海汽船株式会社プレスリリースより抜粋）

- ●開設時期　**平成３０年６月２２日決定（H29.9.1発表）**
- ●運行計画　１日１往復、毎日運行
- ●選定理由
  - ①急ピッチで進められている復興道路等の早期開通により宮古港から県内各地や仙台圏、首都圏へのアクセスが大幅に向上
  - ②トラックドライバーの休憩時間８時間を確保できる最適な航路
  - ③両港とも近隣の観光資源が豊富で旅客需要に期待
  - ④自治体がフェリー航路の誘致に積極的であり、トラック事業者等からの期待も大きい。

▼観光入込客数の推移と期待
（※宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村）



岩手県観光統計（平成21年～平成28年）

がんばろう！東北

別紙 － 4

国道106号　箱石地区道路工事

復興支援道路　宮古盛岡横断道路

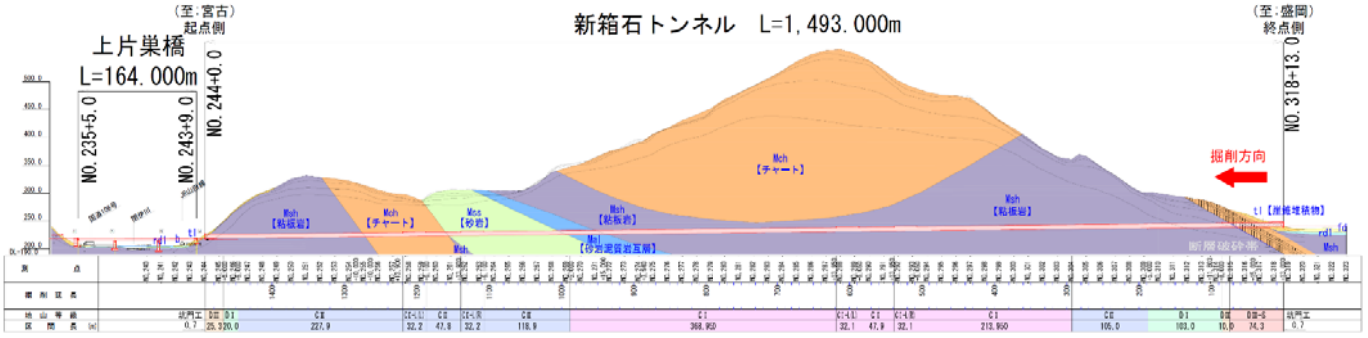
安藤ハザマ

【工事概要】
工事件名：国道106号 箱石地区道路工事
工事場所：岩手県宮古市川井
～宮古市箱石 地内
工　期：平成26年12月17日
～平成30年2月28日
発 注 者：国土交通省 東北地方整備局
受 注 者：株式会社 安藤・間

【工事内容】
（仮称）新箱石トンネル
延長 1,493m（内空断面 約88㎡）
（仮称）上片巣橋
橋台 1基（A1）、橋脚 2基（P1、P2）
（仮称）新箱石大橋
橋脚 1基（P1）

仮桟橋 2基





（仮称）新箱石トンネル終点側坑口



箱石工区



（仮称）上片巣橋　完成予想図



片巣工区

